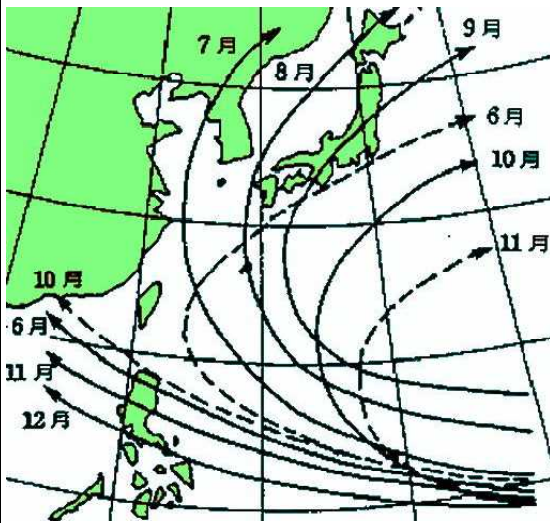
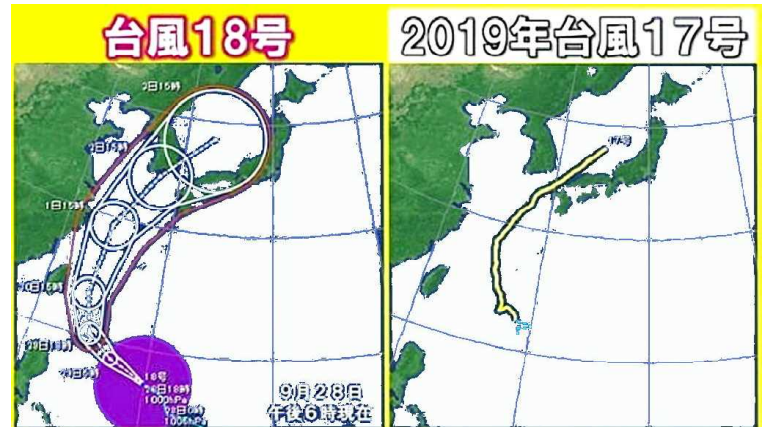




1341 「台風の経路の変化」9/30



←気象庁「主な台風の進み方」



右の画像は気象庁が過去の台風の進み方をまとめたものです。中は9月30日現在の台風18号の進み方の予想。左は、その前の台風17号の進み方です。17号、18号以外にも日本に近づかなかった台風があります。「17号も18号も8月の進み方に近い」と思いました。10月に近いのに、気候的には夏が終わっていません。だから秋なのに蒸し暑い。

1342 6年「つり合うための条件は」10/3

- おもりが多い場合につり合う方法が分かりました。最後の自由の実験が楽しかったです。
- つり合うための条件について工夫しながら見つけれました。班の人と協力できました。
- 分かって楽しかったです。説明は苦手だけど、みんなの前で話せました。
- 実験の時には、みんなで順番にできました。なかよくゆずりあってできました。
- おもりが2個でも1個でも、つり合うことが分かりました。いろんなつり合い方があるんだと思いました。
- ★ 計算で問題を解いてから、実験器で実験して確かめる。熱心にできました。

複数の位置でつり合わす。
計算で予測できました。



1343 「新居浜市・ろうと雲」 10/4

4日の朝7時。新居浜で複数の「ろうと雲」が出ました。数分間だそうです。発達すれば竜巻を引き起こします。実際に海水を巻き上げていた場所もありました。これも気候危機の表れかもしれません。





1344 「科学クラブにシドニー先生」10/3

シドニー先生を科学クラブに誘いました。
今回は6年生の班で、べっこうあめ作り。
英語での会話を6年生に指示。でも、できていない
ので、「〇〇は英語で何と言いますか？の質問を順番に
回しなさい。」と指示。

「ぼくが最初にします！」とAさん。積極的。
「太鼓台を何と言いますか？」「タイコダイ??？」
スマホで画像を見てももらいました。
アメリカには太鼓台はありません。「I don't know.」
(分かりません)

「べっこうあめは何と言いますか？」「I don't know.」
でもクラブが終わった後でメモをもらいました。

もえる さとう Burning Sugar = caramelization (ケラメルアイゼイション)

シドニー先生は“Browning Sugar.”と言いながら
右のイラストのような仕草。茶色のあめです。
これは“ ”の中の言葉を強調する意味です。
このしぐさ、映画で観たことありませんか？
「ケラメル」は、日本語の「カラメル」です。
そしてお菓子の「キャラメル」の語源です。



1345 「べっこうあめ」10/5

シドニー先生の言う“Browning Sugar.”は、「こがした砂糖」という意味。
確かにそうだけれど、日本語の意味が伝わっていません。
べっこうあめは、漢字で書くと「鼈甲飴」です。

「べっこう」は、タイマイというカメ
の甲羅のことです。透明感のある茶色が
似ています。

だから日本的にアメリカ英語にす
ると「Taimai's shell Candy」（タイマイ
の甲羅あめ。イギリス英語だと Candy
は Sweets でも OK です。

タイマイは
海カメの仲間

